

<評価基準>

1	2	3	4
できている	まあまあできている	どちらかといえはできていない	あまりできていない

<評価表示>

◎	よくできている
○	できている
=	ほぼ同数
▲	あまりできていない
●	できていない

<集計結果>

13項目
9項目
1項目
2項目
0項目
25項目

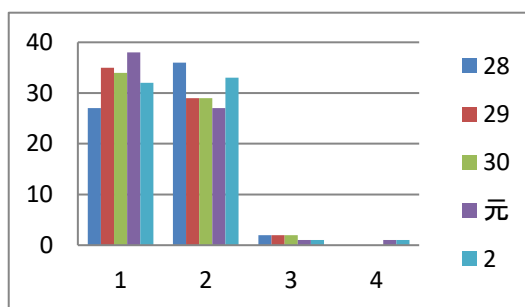
<参考>

◎	1と2の計が81~100%。ただし、1/(1+2)の割合が30%未満なら、○
○	1と2の計が61~80%
=	1と2の計が41~60%
▲	1と2の計が21~40%。ただし、3/(3+4)の割合が30%未満なら、●
●	1と2の計が 0~20%

I 公民館運営全般について

1 地域住民に公民館の目的や利用のあり方について周知に努めていますか。

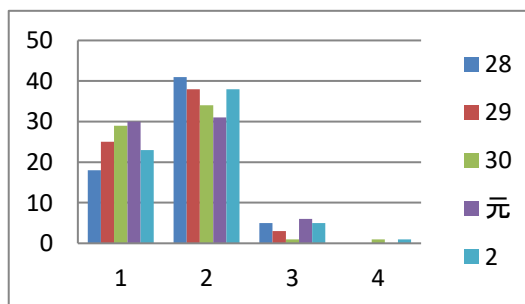
年度	1	2	3	4
28	27	36	2	0
29	35	29	2	0
30	34	29	2	0
元	38	27	1	1
2	32	33	1	1



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

2 地域住民の意見やニーズを聞く窓口(機会や姿勢も含む)を設け、公民館の運営に反映するよう努めていますか。

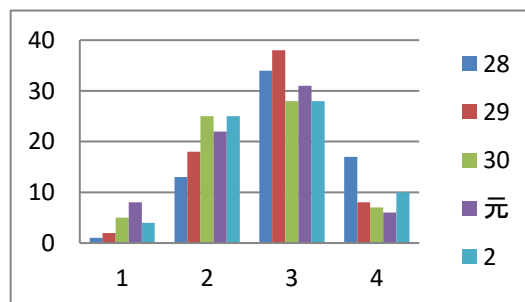
年度	1	2	3	4
28	18	41	5	0
29	25	38	3	0
30	29	34	1	1
元	30	31	6	0
2	23	38	5	1



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

3 公民館の講座(事業)等の成果や改善点等について、参加者へアンケートなどを行なって点検・評価を行っていますか。

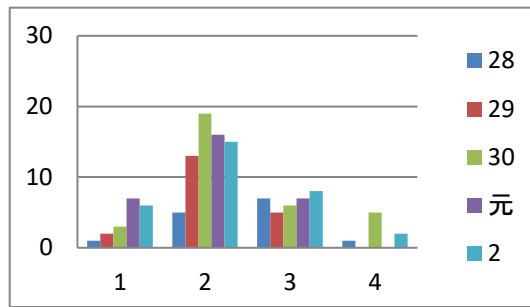
年度	1	2	3	4
28	1	13	34	17
29	2	18	38	8
30	5	25	28	7
元	8	22	31	6
2	4	25	28	10



年度	評価
28	▲
29	▲
30	=
元	=
2	=

4 上記3でおこなっていると答えた館に質問します。点検・評価の結果を、講座生や地域住民に公表していますか。

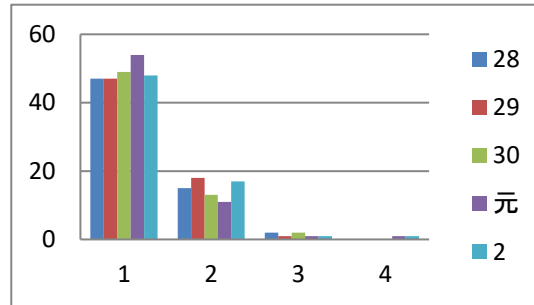
年度	1	2	3	4
28	1	5	7	1
29	2	13	5	0
30	3	19	6	5
元	7	16	7	0
2	6	15	8	2



年度	評価
28	=
29	○
30	○
元	○
2	○

5 日々の接遇及び地域住民からの問い合わせや苦情等への対応が、誠実かつ適切にできていますか。

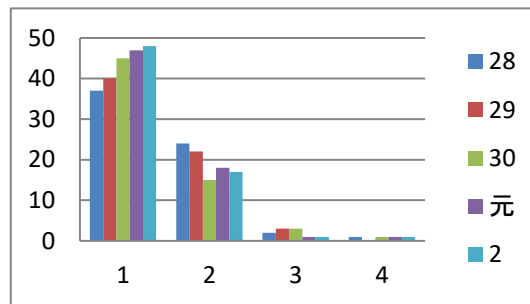
年度	1	2	3	4
28	47	15	2	0
29	47	18	1	0
30	49	13	2	0
元	54	11	1	1
2	48	17	1	1



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

6 定期的に施設・設備の安全点検はできていますか。

年度	1	2	3	4
28	37	24	2	1
29	40	22	3	0
30	45	15	3	1
元	47	18	1	1
2	48	17	1	1

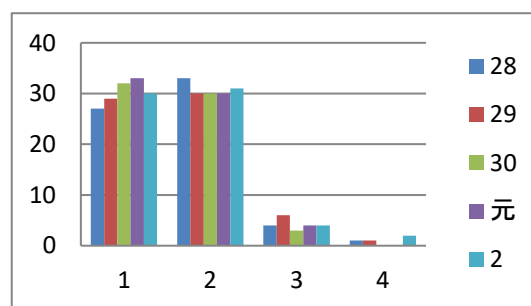


年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

II つどう

7 住民が公民館に気軽に立ち寄り、交流や情報交換などはできていますか。

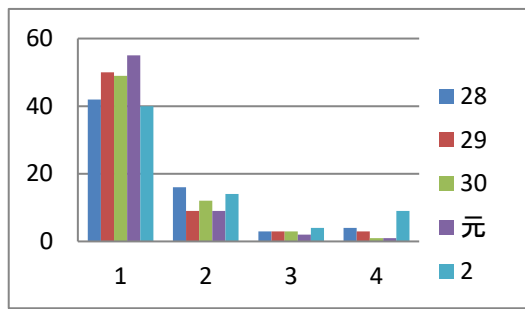
年度	1	2	3	4
28	27	33	4	1
29	29	30	6	1
30	32	30	3	0
元	33	30	4	0
2	30	31	4	2



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

8 学習発表会等、地域やブロックで学習成果を発表する機会を提供していますか。

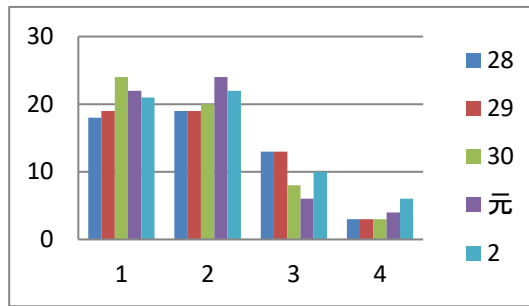
年度	1	2	3	4
28	42	16	3	4
29	50	9	3	3
30	49	12	3	1
元	55	9	2	1
2	40	14	4	9



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

9 図書室(図書コーナー)は、地域住民が利用活用していますか。

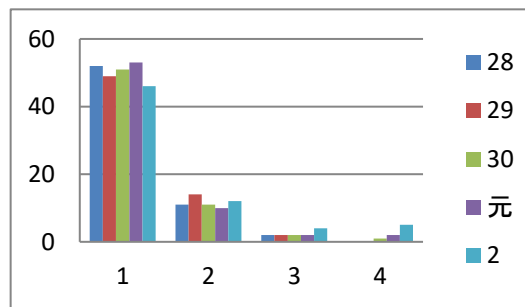
年度	1	2	3	4
28	18	19	13	3
29	19	19	13	3
30	24	20	8	3
元	22	24	6	4
2	21	22	10	6



年度	評価
28	○
29	○
30	○
元	◎
2	○

10 会議室等は、自治会や婦人会や子ども会などの地域の各種団体の会合等に利用されていますか。

年度	1	2	3	4
28	52	11	2	0
29	49	14	2	0
30	51	11	2	1
元	53	10	2	2
2	46	12	4	5

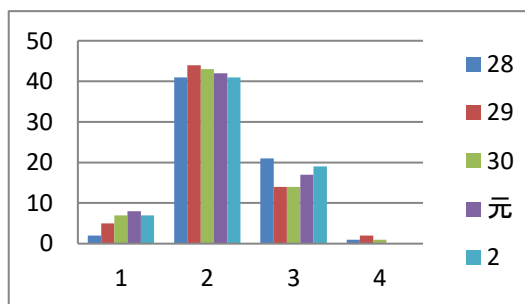


年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

III まなぶ

11 住民のさまざまな学習ニーズを把握できていますか。

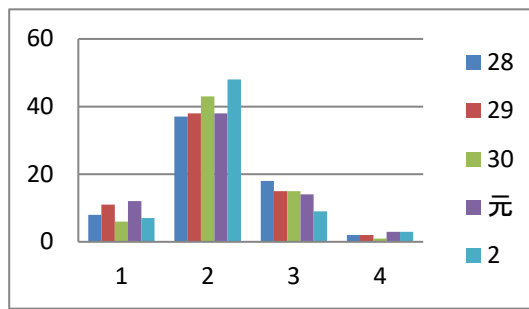
年度	1	2	3	4
28	2	41	21	1
29	5	44	14	2
30	7	43	14	1
元	8	42	17	0
2	7	41	19	0



年度	評価
28	○
29	○
30	○
元	○
2	○

12 教養講座・地域講座において、講座ごとに内容・効果等の具体的な目標を設けていますか。

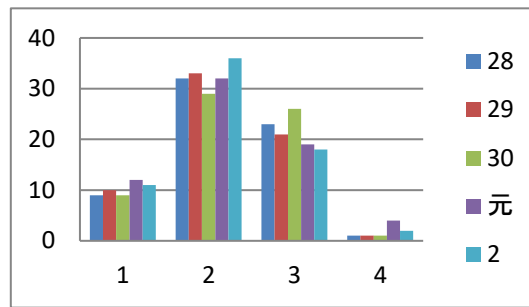
年度	1	2	3	4
28	8	37	18	2
29	11	38	15	2
30	6	43	15	1
元	12	38	14	3
2	7	48	9	3



年度	評価
28	○
29	○
30	○
元	○
2	○

13 文化講座において、講座生と講師と相談しながら講座ごとに内容・効果等の目標を設けていますか。

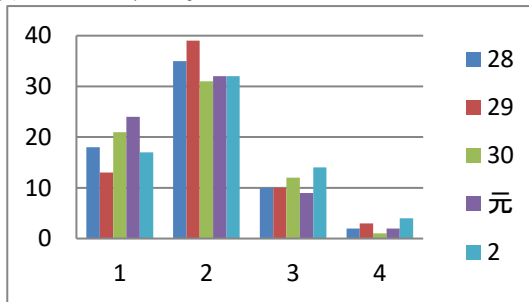
年度	1	2	3	4
28	9	32	23	1
29	10	33	21	1
30	9	29	26	1
元	12	32	19	4
2	11	36	18	2



年度	評価
28	○
29	○
30	=
元	○
2	○

14 公民館の講座や事業の企画・実施・運営に、公民館利用者や地域住民、地域団体〔グループ〕、ボランティア団体等が参画できる機会を設けていますか。

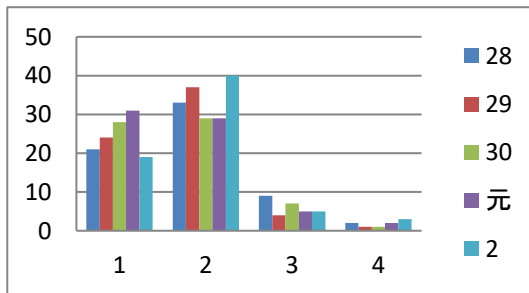
年度	1	2	3	4
28	18	35	10	2
29	13	39	10	3
30	21	31	12	1
元	24	32	9	2
2	17	32	14	4



年度	評価
28	◎
29	○
30	○
元	◎
2	○

15 現代生活に関わる課題や地域課題に関する講座を実施していますか。

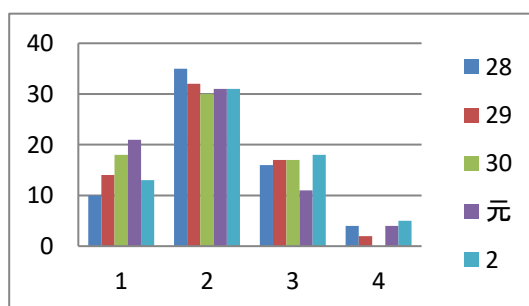
年度	1	2	3	4
28	21	33	9	2
29	24	37	4	1
30	28	29	7	1
元	31	29	5	2
2	19	40	5	3



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

16 地域づくり、まちおこし等に関する講座を実施していますか。

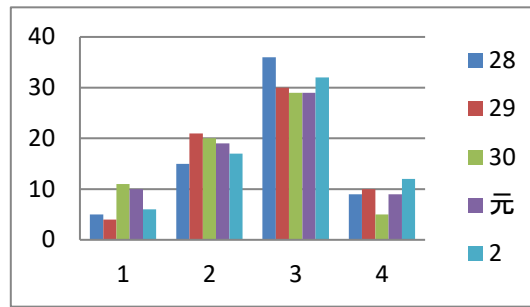
年度	1	2	3	4
28	10	35	16	4
29	14	32	17	2
30	18	30	17	0
元	21	31	11	4
2	13	31	18	5



年度	評価
28	○
29	○
30	○
元	○
2	○

17 公民館または地域におけるリーダーやボランティアを養成する講座や教室を行っていますか。

年度	1	2	3	4
28	5	15	36	9
29	4	21	30	10
30	11	20	29	5
元	10	19	29	9
2	6	17	32	12

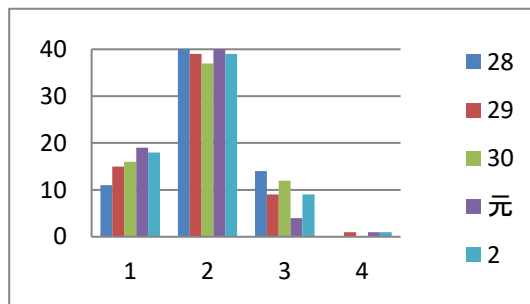


年度	評価
28	▲
29	▲
30	=
元	=
2	▲

IV むすぶ

18 「地域づくり」のための課題を把握できていますか。

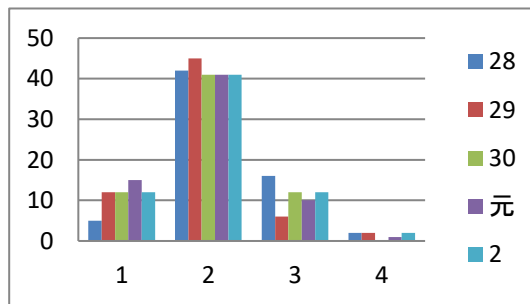
年度	1	2	3	4
28	11	40	14	0
29	15	39	9	1
30	16	37	12	0
元	19	43	4	1
2	18	39	9	1



年度	評価
28	○
29	○
30	◎
元	◎
2	◎

19 講座生や学習グループ、ボランティアグループに対して、情報の提供や相談・助言など、サポートできていますか。

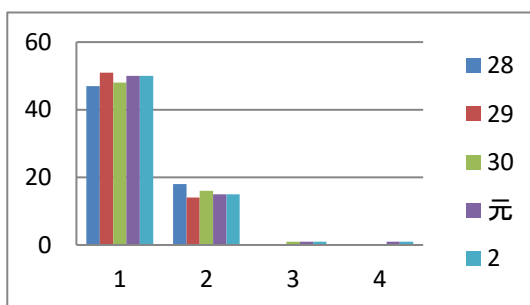
年度	1	2	3	4
28	5	42	16	2
29	12	45	6	2
30	12	41	12	0
元	15	41	10	1
2	12	41	12	2



年度	評価
28	○
29	○
30	○
元	○
2	○

20 講座や事業案内等、地域住民への情報提供に努めていますか。(公民館だよりの発行を含む)。

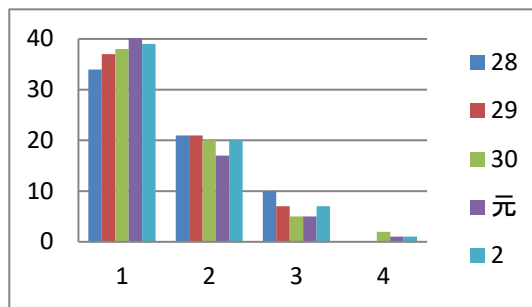
年度	1	2	3	4
28	47	18	0	0
29	51	14	0	0
30	48	16	1	0
元	50	15	1	1
2	50	15	1	1



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

21 地域の学校と連携・協力した事業を実施できていますか。

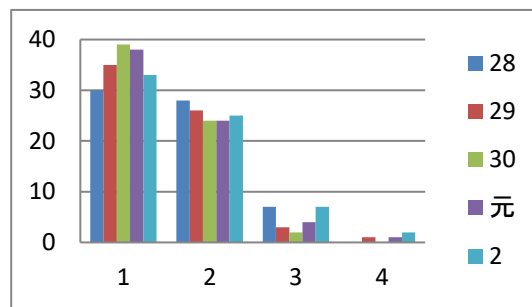
年度	1	2	3	4
28	34	21	10	0
29	37	21	7	0
30	38	20	5	2
元	44	17	5	1
2	39	20	7	1



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

22 自治会や婦人会や子ども会などの地域の各種団体等と連携・協力した事業を実施していますか。

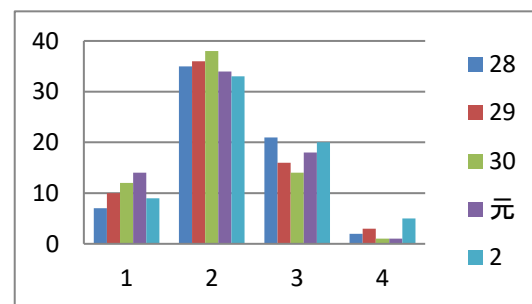
年度	1	2	3	4
28	30	28	7	0
29	35	26	3	1
30	39	24	2	0
元	38	24	4	1
2	33	25	7	2



年度	評価
28	◎
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

23 講座生や学習・地域活動グループ等が相互に交流が図れるような配慮をしていますか。

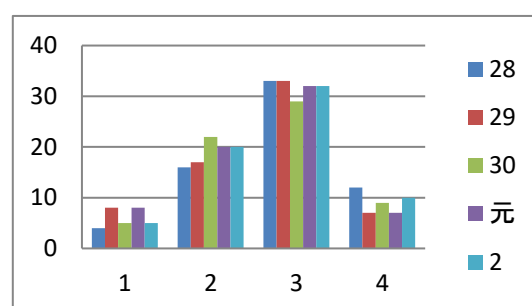
年度	1	2	3	4
28	7	35	21	2
29	10	36	16	3
30	12	38	14	1
元	14	34	18	1
2	9	33	20	5



年度	評価
28	○
29	○
30	○
元	○
2	○

24 講座等の修了者が、公民館活動の指導者・リーダー・サポーター等として活躍する機会がありますか。

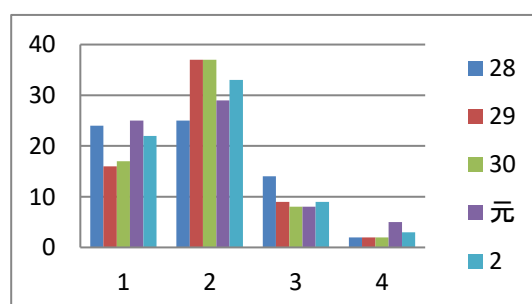
年度	1	2	3	4
28	4	16	33	12
29	8	17	33	7
30	5	22	29	9
元	8	20	32	7
2	5	20	32	10



年度	評価
28	▲
29	▲
30	=
元	=
2	▲

25 公民館をボランティア活動の場として、活用していますか。

年度	1	2	3	4
28	24	25	14	2
29	16	37	9	2
30	17	37	8	2
元	25	29	8	5
2	22	33	9	3



年度	評価
28	○
29	◎
30	◎
元	◎
2	◎

- ◆ 公民館活動について、自らが目標とすることを記入してください。(※中長期的な視点や数値的な目標があれば、あわせて記入してください)

ア 数値目標を設定したもの

- 地域住民の利用度向上を目指している(現状は約4割が校区住民で約6割が他の地域)。男性の利用向上を目指している。
- 入館者数がすべてを語っているとの考えから、絶えず入館者数を増やす手立てを考える。
- 公民館利用者数が前年を下回らないように努力する。
- 受講者が高齢化により減少かつ中途加入者が見込めないのが実情。対策の一つとして、毎年1~2講座を新しく開設し代謝を図りたい。
- 文化講座を年2講座開設。
- 年間利用者10,000人の早期達成。

イ 住民参加や地域づくりに関する目標を設定したもの

- 自治会、各種団体、学校との連携。問題点への協力と対応。
- 利用・参加を強制するものではないが、地域のコミュニティの場として気楽に利用できる敷居の低い公民館を目指している。
- 集う、学ぶ、むすぶという公民館機能に加え、地域社会の交流、活性化の拠点というニーズがあり、その対応が求められている。そこで、事務局的な機能が発揮できるよう模索・実践する。
- 公民館が、各種団体と協力して地域づくりの中心的な役割を果たす。
- 地域住民が集い、地域の中心的な役割(リーダー)を担うことができればと思う。
- 令和4年4月に開設〇〇周年を迎えるので、周年事業を実施し、公民館活動をより充実させたい。
- 自治会や各種団体と連携を図り、行事やイベントを通じ地域の活性化を目指す。「公民館だより」やチラシ等を通じ、地域に情報の発信を行う。
- 地域と繋がり、コミュニティの中心的役割を担って地域の発展に寄与する。
- 地域活動の拠点としての取り組みが継続するよう、地域の各種団体との連携を意識した取り組みを目指す。
- 地域コミュニティの中核としての役割を果たし、地域に愛される公民館を目指す。
- 地域を中心に、どなたでも気軽に利用できるコミュニティの場を提供できるよう、日々努力する。
- 地域の方々にとっての地域文化のコミュニティセンターになり、気軽にお出でいただくようにする。そのために、住民のニーズを把握し、それに応えられるような講座・イベント等を展開する。また、自治会・各種団体とも連携を図り、地域の要望にも応えていく。
- 地域に密着した地域住民が気軽に立ち寄れる場にしていきたい。

- 明るく仲よく元気よくをモットーに、地域の多くの皆さんの生涯学習の場として、また、地域の活動拠点として、誰でも気軽に立ち寄れるような敷居の低い公民館を目指す。
- 地域の特性を生かした公民館運営(例:地元特産品の栽培の啓発・郷土資料の発掘等)
- 公民館へ行き、人々と会うことによって家族や地域などの支え合いが薄れてきた地域のコミュニティ機能を高めることにつながる。
生涯現役につながるような、学びのきっかけになる機会を地域住民に提供したい。
- 身近な生涯学習の拠点として地域住民の多くの人が利用できていること。また、地域住民の、仲間づくり、絆づくりができる交流の場となっていること。
- 地域への情報発信の場としていくとともに、地域の拠点としての役割を果たしたい。
- 地域住民が集い結束を深める場となるよう、情報発信力を高める。
地域活動拠点施設への移行を考える。
- 情報発信の拠点となるよう進める。
- 少子高齢化に一層の拍車がかかった上にコロナ禍で利用者が大きく減少した。公民館の存在意義を啓発するため、校区の諸団体との連携に努力している。
- 地域の活性化の核になればとの思いで活動する。徐々に来館者数も増えており、「笑顔」を増やすよう努力する。
- 地域コミュニティの中心的な役割を果たし、地域住民に生涯学習の場を提供できる公民館を目指す。
- 地域のつながりを目指し地域の各種団体との連携に努める。

ウ 館の雰囲気づくりや心がけに関する目標を設定したもの

- 地域の皆さんの生きがいつくりに貢献すること。
- 地区及び近隣の地域住民にとって、文化的活動を通じて自己実現を図り、生涯学習の場として気軽に利用してもらえるようにする。
- 人と人をつなぐ場であること。来ることで、安らぎや楽しみを感じてもらえる公民館でありたい。
- 「笑顔の花咲く公民館」を目指す。来館する地域住民の方が、いきいきと笑顔で活動できるようサポートしたい。
- 明るく、気持ちよく、お客様(利用者)が幸せを感じる公民館！
公民館活動の活性化 → 利用者が高齢化し従来型公民館活動が衰退傾向にあるなか、子供から高齢者まで多世代が利用する公民館活動の再構築
- 来館者が笑顔と元気で帰ること。
- 公民館を利用される人(高齢者)に、季節感を感じることができるようレイアウトをしていきたい。(季節の草花、正月飾り、こいのぼり、七夕、クリスマスなど)
- 庭木剪定やカラフルな花を植え、施設の設備管理を行い環境整備を推進する。
- 地域住民の憩いの場。興味のあることに楽しく取り組み、日々の生活を豊かにする場。

- 利用されている方により添った運営を心掛ける。言葉遣い、施設の美化も含め、日々努力する。
- 地域住民が気軽に立ち寄れる公民館。
- 地域の人が喜んでもらえる取り組みを行って、みんなが元気になってもらえるよう頑張りたい。毎月のうたごえ広場では、たくさんの人が集まって楽しむひと時を作っていきたい。
- 誰もが気持ちよく利用できる公民館運営を心がける。
- 地域の方々の生きがいつくりの場、健康づくりの場となるよう努める。
- 新型コロナ対策により公民館利用者に多大な迷惑をかけた中、利用にあたっては利用者目線で対応できたと思っている。今後とも利用しやすい使いやすい公民館となるように努力していきたい。
- 地域の人が気持ちよく使える施設を目指す。そして公民館に愛着を持ってもらえるよう心掛ける。
- 来館者が楽しく利用できる公民館にしていきたい。
- 地域に開かれた生涯学習の場として機能するよう、また、コロナ禍の中でも地域の方々が安心して来館いただけるよう最大限の努力をはらいたい。
- きれいな公民館と評価されているので、日常管理や施設点検により利用者が心地よく利用できる環境を維持したい。
- 気軽に立ち寄り、清掃が行き届いている施設であることをまず、念頭に置いている。住民の皆さんが公民館に出向いて、地域住民と交流する機会を提供し、学習することによって、生涯学習の一助となるよう努力したい。中長期的には、プラス要因で、自館の特色づくりができれば。
- 地域全体の社会教育・生涯学習の拠点施設となる館運営を目標としている。
- 生涯学習のための社会教育施設として、公民館を運営すること。広く市民の学習意欲に応える講座、講演会の実施。講座生以外の一般の利用者を含め、広く門戸を広げ、使いやすい施設として、快適にかつ安全に利用してもらうこと。
- 利用者に気持ち良く使っていただくためにも、環境整備に心がけている。
- 地域の人々が気軽に立ち寄れる自由な雰囲気の中で、日常生活に役立つ公民館を目指している。

エ 特定の世代を対象に目標設定したもの

- 団塊世代が参加できるような講座を模索する。
現文化講座の参加年齢が高齢化しているので、如何に継続させていくかを考える。
- 地域のお年寄りや子供たちが気楽に足を運べる公民館
- 古くから地域に密着しており、誰もが立ち寄りやすい開かれた場としての活動を目指している。現状は地域の老人クラブや民生委員、婦人会の方々の利用が主になっており、文化講座の講座生も高齢化している。今後は活動の活性化を目指した幼少年や中年層の方々向けの文化講座の開設や地域講座・イベントの開催を計画していきたい。
- 地域を巻き込んだ活動・運営。青年が立ち寄れる公民館にするよう心がけている。
- 校区住民が気軽に利用できる施設を目指したい。特に、小学生、園児の利用拡大に努めたい。

- 当館の課題は、小学生をはじめとする子供の参加機会が少ないことである。来年度は、子供が参加できる講座を開設し、若年層から高齢者まで広く利用される公民館を目指したいと考えている。
- 小学校で行っている学童保育のミニ版のように、子供達が気軽に立ち寄ってくれるフリースペースを確保して、週に1~2回でも寄ってこれないかと。その際には、遊びの場ではなく、勉強(宿題・読書)や異学年との交流(勉強・遊び・行事等)、又は地域の大人との色々な話題についての世間話や歴史の話等、何でもできる交流の場が持てたらと。
- もっと子供たちとも触れ合える公民館にしたい。
- 小・中・高などの子供たちの来館講座の検討。
- 地域の拠点として、文化的・教育的視点で人が集える場として活用される公民館を目指す。就学前の子供、小中高生の人数が増える仕掛けを考えたい。
- 子供や男性の参加者を増やす取り組みを考える。
- 地域の将来を担う『子供達』向けの講座も重点の一つとし多くの講座を計画。将来的に公民館への関心・親しみを持ってもらうとともに、付随して両親・祖父母の同伴も期待。
- 高齢化の進行で現行活動も段々と衰退傾向にある。高齢者が手軽に出来る運動用具(健康器具)等の設置により、集客を図る。

オ 講座の工夫に関して目標設定したもの

- 新しい講座の開設により、新たな講座生に参加できるようにしたい。
- 公民館に行ってみようと思わせる講座の開設、企画をトライ&エラーで今後も継続したい。当面の目標として小学生の来館を増やしたい。
- 利用者の高齢化等で受講生数が低下傾向にあるので、新規講座の開設や新たな受講生の確保に努めたい。
- 新しい活動の計画や当地で趣味活動とされているものの掘り起こしにより公民館の活性化につなげていく。